

(四国地方整備局からのメッセージ)

◆◆◆四国地方整備局トピック 2019. 1. 10◆◆◆

【 四国地方整備局長 平井 秀輝 】

新年明けましておめでとうございます。
年頭にあたりご挨拶申し上げます。皆様におかれましては、それぞれご家族や友人とともによい新年を迎えられたことと思います。
昨年は、7月豪雨をはじめ、大阪府北部地震、台風20号、21号、北海道胆振東部地震とまさかと思うような災害が相次ぎました。四国地方整備局としては初めて、他の地方整備局からTEC-FORCEの応援を受け、遠く北海道や沖縄を含む全国の職員が一丸となって、被災した自治体への支援に当たりました。関係の皆様改めて感謝申し上げます。
また、肱川緊急治水対策着工式の開催や片坂バイパス、東予港複合一貫輸送ターミナル整備事業の耐震強化岸壁の供用等、様々な事業が節目を迎えました。事業推進につきまして関係する皆様にご尽力頂いたことについても感謝申し上げます。
改めて申し上げるまでもなく、必ず来る南海トラフ巨大地震をはじめとする自然災害への備えを進めること、魅力ある四国づくりを通じた地域の活性化は、我々が取り組むべき重要な課題です。
このため、7月豪雨の復旧・復興対策や四国8の字ネットワークの整備、河川・海岸堤防、岸壁の耐震強化等の地域の安全・安心確保のための事業を着実に推進することが必要です。
また、2つ目の課題である魅力ある四国づくりに対しては、クルーズ船振興、四国八十八景のプロモーションなどを推進するとともに、地方創生に係る取り組みとして、今年で四度目の開催を迎える瀬戸内国際芸術祭や、スポーツ、魚・果実などの「聖地・ブランド」化が促進されるよう、インフラの側面から後方支援していきたいと考えています。
我々が進める事業は一朝一夕には完成しない大規模な事業ばかりであり、困難な場面や判断に迷う場面に遭遇することが多々あります。そのような苦境にあっても、日々の業務を着実に積み重ねて行くことが重要です。
平成から新時代を迎える本年も、地域社会の安全・安心や活性化の実現という目標に向かって歩みを止めず、地域の課題や日々の業務に向き合って参りたいと思います。
結びに、平成31年が、皆様とご家族にとって健やかで良い年になりますことを祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

目次

○平成30年度 輝く女性・活躍発信バスツアーの開催について

ページ(1)

- 冬期における国道の安全確保にむけて
- 高知をPR コンテナに絵を描こう！
～コンテナペインティング・高知港から世界へ～
高知港開港80周年・高知新港開港20周年記念事業

平成30年度 輝く女性・活躍発信バスツアーの開催について

【 徳島河川国道事務所 吉野川上板出張所 】

建設産業における担い手の確保に関する取り組みの一環として、徳島県内の女子学生を対象に、建設産業の魅力を発信するバスツアーを四国地方整備局 徳島河川国道事務所及び徳島県が合同して開催しました。

このバスツアーは、女子学生に、現役女性技術者と一緒に最新技術の見学や女性目線で行う安全パトロールを現場体験してもらうとともに、建設産業に従事する「やりがい」と「魅力」、「キャリアプラン」等について、自由に質問や相談ができる座談会へ参加していただくことで、女性がいきいきと活躍する新しい建設産業を体験して頂きました。

1. 日 時：平成30年11月10日（土）13:30～16:00
2. 参加者：徳島大学の女子学生及び建設産業に従事する女性技術者（24名）
3. 内 容：
 - 1) 現場体験：平成30年度 新喜来提防外工事（板野郡北島町高房八丁野西地先）
 - a. 工事安全パトロール
今までとは異なる女性目線を加えた安全・衛生面での点検を勘案し、女子学生・女性技術者と一緒に工事安全パトロールを行いました。
女性用トイレについては、現場のトイレとは思えないほど快適、との感想を頂きました。
 - b. 3Dレーザースキャナを使用した測量
3Dレーザースキャナを動かしながら、測量会社の方より測量手法についてご説明いただきました。女子学生・女性技術者の方々は目の前で 作成される3D画像の説明を熱心に聞き入られていました。
 - c. ICTバックホウ
3D化した目的構造物（盛土）のモニターを見てもらいながら、どのように工事を進めているのかを体験してもらいました。体験を通して、従来の丁（ちよう）張（はり）を使用した作業よりも、精度の高い工事が実現できるようになったことを確認頂きました。
 - 2) 座談会：建設産業に従事する女性技術者と女子学生との意見交換等
座談会は、三つのグループに分かれてもらい、女性技術者から建設産業のやりがいや魅力、そしてキャリアプラン等について話をして頂きました。
女子学生からは自分の進路を考える上で給与や休暇制度、転勤の有無などの質問や、研究内容と就職先とのマッチングや子育て中の働き方への不安など、自由な意見交換を行って頂きました。会場内は、お茶を飲みながら終始和気あいあいとした雰囲気の中で活発な意見交換を行うことができました。

冬期における国道の安全確保にむけて

【 道路部、松山河川国道事務所 】

冬を迎え本格的な雪が降るシーズンとなる前に、国道の安全な交通確保にむけて、雪水対策出動式、雪道安全ドライブキャンペーン、放置車両の移動訓練等を実施しま

した。

■放置車両移動訓練

平成30年11月30日に国道11号桜三里、東温市河之内において愛媛県警、JAF愛媛事務所の協力をいただき、雪で走行不能となった車両が路上に放置されていることを想定し、道路交通確保のための放置車両移動訓練を実施しました。

事務所の若手や地方自治体の職員等も参加し、簡易移動器具による訓練体験も行いました。

■雪氷対策出動式

平成30年12月5日、松山第一国道維持出張所において、事務所管内三出張所から職員、維持業者、雪氷対策車両が集まり、事務所長による訓示や雪氷対策車両の点検等を行い、路面凍結や急な積雪への対応にむけて出動式を実施しました。

■雪道安全ドライブキャンペーン

平成30年12月7日、愛媛県伊予郡松前町の国道56号沿いにある大型複合ショッピングセンターのエミフル松前において、冬の運転啓発パネルや自動車の冬用タイヤの展示、チェーン取り付け体験等雪道安全運転に関してキャンペーンを実施しました。

高知をPR コンテナに絵を描こう！

～コンテナペインティング・高知港から世界へ～

高知港開港80周年・高知新港開港20周年記念事業

【 高知港湾・空港整備事務所 】

平成30年12月8日（土）に、高知港開港80周年・高知新港開港20周年記念事業の締めくくりとして、高知新港にて海上貨物を運ぶコンテナ（高さ2.9m、横幅12m）をキャンパスとして、港湾関係者や貿易関係者の5歳から18歳までの子供たち29人による高知らしさをPRする絵を描く「コンテナペインティング」が行われました。

当所も、港湾事業や高知港海岸整備事業に関するパネルを展示し、参加者へ理解を深めてもらいました。

イベントの目的は、高知港開港80周年・高知新港開港20周年を記念し、広く県民の皆様にも県経済を支える港をPRし、次世代を担う子供たちに、港の果たす役割（貿易や物流）を学習してもらうことです。

絵の描かれたコンテナは、実際に貨物用として使用し、世界の港に輸出します。

コンテナの提供は、海運界のリーディングカンパニーで、高知～神戸間の定期航路に連結する外貿コンテナ航路を運航しているAPL（アメリカン・プレジデント・ラインズ）。

まず、絵を描く前にAPL日本代表の内田秀樹様より「高知からマレーシアのパシヤグダンまでの海上輸送について」と題して、クイズも交えながら、「高知を出発してから貨物を載せたコンテナはどのようにしてマレーシアのパシヤグダンまでいくのか」を、わかりやすく説明していただき、14日かけて運ばれていることや、貿易の90%以上は船で運ばれていることを学びました。

その後、高知県内の漫画家の「くさかり樹（くさかりき）」先生（代表作『ヘルプマン！』）と「村岡マサヒロ（むらおかまさひろ）」先生（代表作『きんこん土佐日記』）のお二人から、子供たちに高知らしい絵を描くためのアドバイスをいただき、まずは、画用紙に自分の描きたい絵を練習しました。

そして、描く絵をイメージできた子供から順に思い思いにコンテナへ、水性絵の具を使って高知をPRする絵をコンテナ両側面に描きました。

ペインティングされたコンテナは、12月18日（火）朝、コンテナ船に積み込まれ神戸へと運ばれました。

今後は、実際に海を渡って外国の地へ届く様子を追いかける予定です。

四国地方整備局HP

<http://www.skr.mlit.go.jp/>

四国地方整備局Facebook

<https://www.facebook.com/shikokuchisei/>

自治体担当者様におかれましては、首長ご本人への転送とあわせて、職員の方への周知もお願いいたします。

「いきいき四国通信」に関するご意見、配信中止・配信先変更のご希望等がありましたら、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

国土交通省 四国地方整備局 企画部 「いきいき四国通信」事務局

<mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp>
